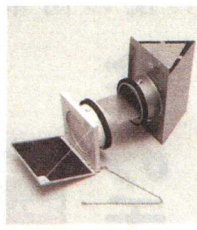
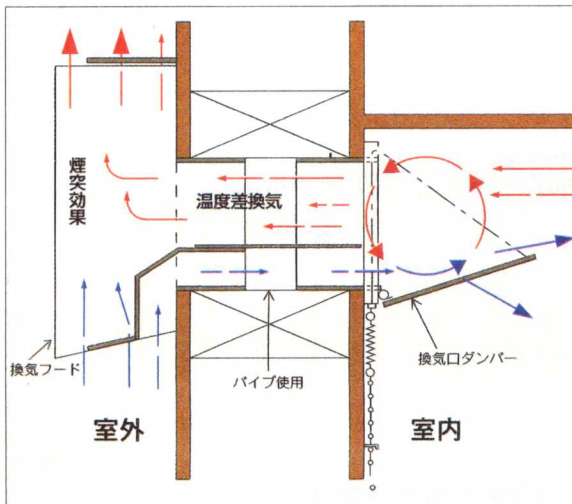


「JES」で見つけた新技術

ジャパンホームショー

運転停止時も自然の力で同時給排気
計画換気フェイルセーフ設計

グッドマン [北海道]



グッドマン換気口「GM-100」。内径寸法97mmで、ユーザー価格1万4700円（1ケース6台入り）。このほか内径寸法147mmの「GM-150」などがある

換気口の断面と空気の流れのイメージ図。床より180cm以上に設置する

換気や融雪を研究するベンチャー企業の(有)グッドマン（北海道札幌市、斎藤武夫社長 011・563・0744）は、機械換気システムの停止時やトラブル時にも動力なしで機能する省エネ換気口「グッドマン」を開発。公営住宅や公共施設、マンションなどを中心に実績を伸ばしている。

自然の力（主に室内外の温度差）を利用して空気を入れ替えるパッシブ換気装置。換気口の内部を上下に分割、上部を排気経路、下部を給気経路として同時給排気を行う

能力がある「図参照」。室内側に設けたダンパーの上で、外から入ってきた空気と中から出ていく空気が混じり合うしくみ。ここで温度を中和し、冷気が降りて足元を冷やすすり、コールドドラフトが起きにくくしている。

実際の換気計画では、第三種換気の給気口として活用。各居室の上部（床から180cm以上）に設置して給気し、トイレや洗面所・階段室などの壁に取り付けたパイプファンから排気するシステムが同社の提案だ。ドアンダーカットなどで

今号は1・2面で新技術・新サービスを特集する。11月15日～17日に開催したジャパンホームショーの出展企業を皮切りに、省エネルギー・エコロジー・耐震の側面から工務店を支援する、新技術・新サービスにスポットをあてた。